



営農NEWS



アブラナ科野菜類の育苗中および本圃初期に おける害虫被害の発生を防止しましょう

高温少雨の天候が続く、これから始まる秋冬葉菜類の育苗管理や定植後の栽培には、ご苦労が多くなると考えられます。定植後のチョウ目を中心とした害虫防除には、現在、育苗後期から定植前にセル成型育苗トレイなどに処理したり、定植時に植穴や株元に処理できる残効期間の長い薬剤が登場しており、これらを事前に処理しておきますと、使用する薬剤により持続期間は異なりますが、2 週間～1 か月くらい防除効果が期待できるようになりました。その後は、薬剤抵抗性害虫の出現を抑制するため、定植期頃に処理した薬剤とは異なる他系統の有効薬剤とのローテーション防除することで、被害発生を大きく減少させています。

しかし、近年、ジアミド系薬剤（プレバソン、フェニックスなど）では、コナガに対して防除効果の低下している圃場が確認されています。ジアミド系薬剤は、ハスモンヨトウやオオタバコガ等のチョウ目害虫には不可欠であるため、コナガが発生して問題になるときは、ジアミド系以外の有効薬剤と組合わせてローテーションで対応してください。

一方、育苗中は年次によって害虫の発生時期や発生量が変わるため、防除が比較のおろそかになる傾向があります。しかし、育苗中に高温が続きますと、害虫類の寄生が多くなり、気をつけていないと食害や寄生で思わぬ被害を生じてしまいます。このため、本圃に定植するまでは、十分な育苗管理に努めてください。

キャベツやハクサイ、ブロッコリー、カリフラワーなど秋冬のアブラナ科野菜類の育苗中に寄生、食害する主な害虫として、アオムシやヨトウガ、コナガ、ハイマダラノメイガなどのチョウ目害虫や、アブラムシ類などがあります。

本年は高温の日が続いており、害虫の多発生が懸念されますので常に作物を注意して観察し、発生初期における薬剤防除を徹底してください。

【育苗中における病虫害防除のポイント】

- 1 育苗は事前に清掃や消毒をした場所で行い、また、育苗中は出来るだけ清潔を保つように努めましょう。
- 2 育苗ハウスは、側窓や天窓など開口部に防虫ネットを必ず張って、害虫の侵入を防ぎましょう。
- 3 育苗中は適度なかん水に努め、過湿、過乾燥にならないように注意します。また、生育に応じて株のずらしや、通風、採光を良好に保って健苗な株を育てます。
- 4 育苗中は病虫害の発生を常に注意深く観察し、確認したときは早期に薬剤防除を行ってください。
- 5 育苗中に病虫害の発生した株は、育苗ハウスから持ち出して適切に処分し、本圃には持ち込まないようにします。

表 1 アブラナ科野菜類の育苗中に発生する主な害虫の防除薬剤（平成 27 年 8 月 7 日現在）

薬 剤 名（系統）	キャベツ					ハクサイ				ブロッコリー				カリフラワー		
	アオ	ヨト	コナ	ハイ	アブ	アオ	ヨト	コナ	アブ	アオ	ヨト	コナ	アブ	ヨト	コナ	アブ
モスピラン顆粒水溶剤（ネオニコチノイド）	○		○		○	○		○	○	○		○	○		○	○
ジェイエース水溶剤（有機リン）	○	○	○		○	○	○	○	○					○		
パダンSG水溶剤（有機リン）	○		○	○	○	○		○	○			○				
トレボン乳剤（ピレスロイド）	○	○	○		○	○	○	○	○							
カスケード乳剤（IGR）	○	○	○	○		○	○	○								
コテツフロアブル（－）	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○			○	
ラービンフロアブル（カーバメート）	○	○				○	○									

注）害虫名 アオ：アオムシ、ヨト：ヨトウムシ、コナ：コナガ、ハイ：ハイマダラノメイガ、アブ：アブラムシ類を略して表示しました。

表 2 アブラナ科野菜類の育苗期後半～定植時に苗または株元処理できる主な防除薬剤（平成 27 年 8 月 7 日現在）

薬 剤 名（系 統）	処 理 方 法	キャベツ	ハクサイ	ブロッコリー	カリフラワー
プレバソンフロアブル5（ジアミド系）	セルトレイ等※への薬液灌注	○	○	○	○
プレバソン粒剤（ジアミド系）	セルトレイ等※または株元への散布	○	○	○	
ジュリボフロアブル（ジアミド+ネオニコチノイド系）	セルトレイ等※への薬液灌注	○	○	○	
スタークル顆粒水溶剤（ネオニコチノイド系）	セルトレイ等※への薬液灌注	○		○	
ダントツ粒剤（ネオニコチノイド系）	株元処理など	○	○	○	

注 1）※印は、セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊（30×60cm・使用土壌約 3L）を略しました

2）各薬剤の対象害虫および処理法は、作物により異なります。使用内容を確認し、適切に処理してください。

農業使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040